



川越市立大東西中学校 学校だより

きらめき

令和8年7月22日発行
第5号
川越市立大東西中学校
校長 小川 潤也

学校教育目標 『豊かな心を持ち、たくましい生徒 ～ 夢や希望をもつ生徒 ～ 』

○自ら考え、自ら学ぶ生徒 ○豊かな心を育む生徒 ○心身の健康に努める生徒

地域の中で育つ子供たち

校長 小川 潤也

本日、無事に大きな事故なく、1学期の終業式を迎えることが出来ました。これも、日頃より、本校の教育活動を支え、子供たちの一番の応援団でいてくださる保護者の皆様、地域の皆様のお力添えのおかげと、心より感謝申し上げます。

夏休みに入ると、子供たちの生活の中心が、学校から、家庭、地域へと移ります。地域の方と関わる機会も増え、様々な行事に参加する中で、多くの事を学び、成長していきます。

私は先日、地域の夏祭りを訪れました。会場には多くの地域の方々が集まり、子供から大人まで、笑顔でお祭りを楽しんでいます。その中で、特にうれしく感じたのは、本校の生徒たちが地域の方々と一緒に活動している姿をたくさん見ることができたことです。友達と祭りを楽しむ姿だけでなく、準備や運営の手伝いをしたり、小さな子供たちに優しく声をかけたり、地域の方々と笑顔で会話をしたりする姿も見られました。学校の中とはまた違った表情で、子供たちが地域の一員として活躍している様子を目にし、とても頼もしく感じました。

子供たちは、家庭や学校だけで育つではありません。地域の多くの方々に見守られ、声をかけていただき、さまざまな経験を重ねながら成長していきます。また、地域の行事に参加し、年代の異なる方々と触れ合うことは、人とのつながりの大切さや、周囲の人のために行動することの意味を学ぶ貴重な機会にもなります。

今回の夏祭りでも、子供たちは地域の方々から声をかけていただいたり、活動を通して感謝の言葉をいただいたりしていました。こうした経験は、自分も地域の役に立つことができるという自信や、自分は多くの人に支えられているという実感につながっていくものと思います。

そして、地域とのつながりは、子供たちの安心・安全を守ることにもつながります。日頃から地域の方々と顔の見える関係をつくり、子供たちを知っていただくことは、登下校時や放課後、休日など、さまざまな場面での見守りにつながります。子供たちにとっても、困ったときに声をかけられる大人が地域にいることは、大きな安心になります。

一方で、夏休みは交通事故や水の事故、熱中症、SNSを通じたトラブルなど、普段以上に注意しなければならないこともあります。学校でも事前に指導を行っていますが、ご家庭におかれましても、外出時の行き先や帰宅時間、交通ルール、スマートフォンやSNSの使い方などについて、改めてお子様と確認していただければと思います。

子供たちが安心・安全に夏休みを過ごし、さまざまな経験を通して成長するためには、学校・家庭・地域の連携が欠かせません。地域の中で活躍する生徒たちの姿を大切にしながら、これからも多くの方々とともに、子供たちを見守り、支えていきたいと考えています。

いよいよ39日間の長い夏休みが始まります。子供たちには、安全と健康に十分気を付けながら、家庭や地域で様々な経験を重ねてほしいと思います。そして、2学期の始業式には、一回り大きく成長した元気な姿で再開できることを楽しみにしています。保護者、地域の皆様には、夏休み中も子供たちへの温かな見守りと声掛けをお願いいたします。

